

学校の様子(9/28～10/2)

9/28(月)放送による朝会

気持ちのよい朝を迎えました。太陽はまぶしいですが、風がとても気持ちよく、まさに秋を感じる週の始まりです。放送による朝会では次のような話をしました

9月28日。9月最後の月曜日です。今週も元気なあいさつからスタートしましょう。準備はいいですか？

「おはようございます！」

今朝は、先週、旭高原少年自然の家で2日間すごしてきた、5年生の野外活動について少し紹介をします。

1日目の天気は晴れのち曇り。ウォークラリーで、班ごとに山道を1時間以上歩きながら問題を解いて、自然としっかりふれあうことをしてきました。

竹とんぼも作りました。悪戦苦闘しながら、最後まで自分で作ったことに意義あります。ヒノキの葉書も書いて、切手を貼って郵送しました。夜のキャンプファイヤーでは、ファイヤー実行委員を中心に、5年生みんなで協力して盛り上げました。クラスごとに願いを込めて文字を作ったキャンドルサービスでは、クラスの思いが光り輝き、感動的でした。

2日目はあいにくの雨となりましたが、大縄跳びに綱引き大会にとクラス対抗で、こちらも大いに盛り上がりました。

この2日間の共同生活をとおして、5年生の皆さんはたくさんのことを体験して学び、ずいぶん成長したなと感じています。代表のみなさんの話からも「自然の素晴らしさ」と「仲間の大切さ」を感じ取ることができた、貴重な2日間であったことがしっかりと伝わってきました。炎や火の光に誓ったように、これからの学校生活での活躍が楽しみでなりません。期待しています。5年生の皆さん、ありがとう。

そういえば、寝泊まりする立派な建物の中で気づいたことがありました。それは、校長先生が入ったトイレのスリッパが、いつもきちんとそろえられていたことです。全部のトイレを見たわけではありませんが、5年生の皆さんが、次に使う人のことを考えて、そろえていたんだなと感心しました。こうしたちょっとした心配りができる人って素晴らしいなと思います。学校生活でも大切ですよ。

例えば…トイレトペーパーを使い切ったら、次に使う人のために、新しいものに取り替えておくとか…教室でプリントを前から後ろに送るときに、次の人が受け取りやすいように渡してあげるとか…

このちょっとした思いやりがある人って素敵ですよ。以上、5年生の野外活動のお話でした。

もう一つお話をします。先日、門のところでみんなに「おはようございます！」とあいさつをしていたら、一人の女の子から、校訓は何のためにあるのかを聞かれました。校訓には、みんなにそうやってほしいという願いが込められていることを話した覚えがありますが、突然のことでびっくりしたことも覚えています。

あいさつが大切な話や、「元気に登校 笑顔で下校」の合い言葉の話は何度かこれまでもしてきましたが、校訓についての話は、みなさんにきちんと話をしていなかったように思います。校訓というのは、市が洞小学校で大切にしたい目標や願いを、短い言葉でわかりやすく示したものです。「みなさんにこうあってほしいな」という願いが込められている言葉です。

ところでみなさん、市が洞小学校の校訓を言うことはできますか？ 願いが3つ集まっていますよ。

校訓の一つ目は「明るく」です。明るく笑顔あふれる学校をめざしています。まさに「元気に登校 笑顔で下校」です。明るく笑顔あふれる人に育ってほしいという願いが込められています。

校訓の二つ目は「強く」です。「よく学びよく遊ぶ」ことです。自分を鍛えることです。強い心、強いからだをもった人に育ってほしい。強く生きてほしいという願いが込められています。

そして校訓の三つ目は「優しく」です。思いやりの気持ちを大切にしています。人に優しくできる人に育ってほしいという願いが込められています。

みなさん、市が洞小学校の校訓について、よくわかりましたか？校訓は、「明るく 強く 優しく」です。覚えておきましょう。

朝はなかなか立ち止まって見ることがないかもしれませんが、正門の右側に校訓と校歌が掲示されています。毎日通るところにありますので一度確かめてみてください。そして、「明るく 強く 優しく」の校訓を時々思い出しては、今の自分がどれだけ近づけているかを振り返って、自分自身を高める一つの目標にしてくださいね。

今週は木曜日から、いよいよ10月に入ります。朝晩は寒さを感じるようにもなってきました。少し前の猛暑の夏を思えば、ずいぶん過ごしやすくなりました。でも、寒暖差と言って、朝晩と昼間の気温の差が大きくて体調を崩しやすい時期でもあります。睡眠と朝ご飯で体の栄養をしっかりとって、「元気に登校 笑顔で下校」ができるようにしていきましょう。そして、校訓のように「明るく 強く 優しく」いきましょう。

まだまだコロナの心配は続いています。マスク・手洗い・体温は一人一人がしっかりと、そして、人との距離「くっつきません」・教室の換気・食べるときは話さないなど、クラスみんなで気をつけていってくださいね。6年生の皆さんにとっては、10月と言えば修学旅行ですよ。校長先生も楽しみにしています。いい準備をしていきましょう。



9/29(火) 3年生：プログラミングの授業

3年生がコンピューター室にてプログラミングを体験しました。4時間目の様子をのぞいてみました。ITCサポーターの方に説明していただきながら、マウスを動かして簡単なプログラムを作成していきます。今回は「スクラッチ」というソフトを使い、ロボットに指令を出して燃料をゲットするためのプログラミングを実践していました。ロボットを右や左に向かせたり、前に進ませたりする指令を出すのですが、うまくいかないときもあり、一人一人が自分で試行錯誤しながら取り組んでいました。3年生もしっかり楽しみながら考えることができていました。



9/29(火)～4年生：部活動本入部

本日の部活動から4年生は本入部です。サッカー部49人、バスケットボール部32人、金管バンド部26人が入部しました。活動の様子をのぞいてみると、サッカー部・バスケットボール部は、運動場をみんなで走ったり、ダッシュやフットワークをしたりして、元気いっぱいとても意欲的に活動していました。金管バンド部は、室内で顧問の先生の話真剣に聞いていました。部活動ができることを当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れずに活動していこうと話していました。一日一日そのときそのとき全力で取り組み、力をつけていってほしいです。



9/30(水)も元気に活動していました！5・6年生といっしょに活動したり見学したりしていました。



10/2(金)は、ボールを使った運動や、リズム打ちなどに、意欲的に取り組んでいました。



9/30(水) 秋の全国交通安全運動

先週から秋の交通安全運動で、毎朝多くの方が交差点や車の多い場所などで子どもたちを見守ってくださっています。大きな事故なく安全に登下校ができているのも、地域の皆様がいつも子どもたちを気にかけてくださっているからです。本当にありがとうございます。



10/1（木）十五夜

今日は十五夜です。中秋の名月と言われ、きれいな満月の日にお団子を食べるイメージがあります。長久手・日進・東郷では「お月見どろぼう」の習わしがあるとも聞いていますが、子どもたちはお月見どろぼうでいろいろなおうちをまわったのでしょうか？

学校では暗くなってきた18時過ぎ頃、「満月がきれい！」の声で十五夜であることを思い出し、みんなで職員室前から中秋の名月を満喫しました。

もともと、十五夜は旧暦の8月15日とされていたそうで、月の満ち欠けを基準にしていた旧暦と、太陽の動きを基準にしている新暦では、1年の始まる日も1年の長さも異なるとのこと。そのため、旧暦と新暦にズレが生じ、実際には、毎年9月中旬～10月上旬の間に十五夜（旧暦8月15日）がくるとされているそうです。今回は10月1日が十五夜とされていますが、月の満ち欠けの周期も約15日と一定ではないため、十五夜と満月の日が同じ日になるとは限らないそうです。2020年は十五夜が10月1日、満月の日が10月2日だそうです。そう言われてみると満月一步手前のようにも見えてきました。

旧暦8月15日は、畑ではお芋の収穫時期でもあったそうで、そのため、お芋をお供えする地域があり、無事収穫が済んだ感謝の気持ちをこめて「芋名月」とも呼んでいるそうです。

お月見のときに供えるお団子は、里芋を模したものという説があることもわかりました。調べてみるといろいろなことが分かりおもしろいものです。

大人になっても知らないことはまだまだいっぱいあります。「中秋の名月」がいろいろなことを教えてくださいました。



10/2（金）4年生：介助犬講座

昨年度までは5年生が平成こども塾で飯ごう炊飯を体験した後に、お隣の「シンシアの丘」で施設を見学させていただき介助犬講座をお願いしておりましたが、今年度から4年生が、総合的な学習「見つけよう 見直そう 福祉の心」の単元で、福祉実践教室の一環として実施しています。今回はコロナの影響で実施が難しかったのですが、「シンシアの丘」から学校に来ていただけるということで実現しました。2時間目に1・2・3組が、3時間目に4・5組が体育館にて行いました。介助犬についての話に続き、介助犬によるデモンストレーション、代表児童による介助犬体験を通して、たくさんのお金を学びました。デモンストレーションでは、お金を拾ってくる実演、靴や靴下を脱がせて箱に入れる実演、冷蔵庫から飲み物を持ってくる実演、携帯電話を探して持って来る実演を見ました。

「テイク」「ギブ」など50語くらいの英語を教え込まれているとのこと。「どこでも寝られること」や「介助犬にも得意・苦手があること」なども含めて、介助犬の素晴らしさや凄さを子どもたちとともに実感しました。介助犬は現在全国で62頭しかいないとのこと。



「やさしい無視」「やさしい声かけ」の大切さや、介助犬のことをもっと多くの方に知ってもらいたいことなど、講師のお二人と介助犬「コア」「レモン」から、子どもたちは多くのことを感じることができたと思います。

特に「障害がある人が社会で生活していくにはいろいろな助けが必要です。自分に何が出来るかを考えてやさしい気持ちを大切にしてほしい。」との話や、「ほめて、ほめて・・・、ほめながら訓練している。」との話が、私には強く印象に残りました。



<今週の学校生活から>



1年生：図工「やぶいたかたちからうまれたよ」



6年生：図工「1枚の板から」



5年生：体育「ハードル走」



大好物のにんじんを食べるチョコラとパニラ！



飼育委員会がんばっています！



皿回し芸人あらわる！

<今週の給食>

10月1日は十五夜でした。月見ゼリーだけではなく、さといもコロッケにだんご汁など、丸い食材（さといも・だんご）から満月をイメージできる献立でした。献立表を見ると、「現在は団子をお供えしていますが、昔は秋の収穫に感謝する意味を込め、収穫されたばかりの里芋をお供えしました。」とありました。今週もおいしい給食をありがとうございました。



9/28 おろしハンバーグ
キャベツとツナの和え物
根菜のごま汁



9/29 肉だんごの甘酢煮
もやしのナムル
ワンタンスープ



9/30 お好みどんぶり
とうふ汁
冷凍ミカン



10/1 里芋コロッケ
ちぐさやえ
だんご汁
月見ゼリー



10/2 しゅうまい
切り干し大根の中華炒め
中華コーンスープ